

会議名	令和3年度第1回上下水道事業経営審議会
日時	令和3年8月3日(火) 15:00~16:20
場所	市役所本庁舎6階 6-1大会議室
出席委員	浅野裕司委員、石原宏基委員、服部勝弘委員、箕輪光顕委員 山口力也委員、武藤豪委員、近藤隆郎委員、森健二委員 木村隆之委員(会長)、服部学委員、瀬瀬晴美委員 葛西裕子委員、山田謙一委員
欠席委員	岡田美津子委員、河野美佐子委員
次第	1 説明事項 ・令和3年度審議会の内容 ・本日の説明事項 ・審議会のスケジュール 2 その他
議事概要	<p>＜説明事項＞ 資料「第1回 上下水道事業経営審議会」により事務局から説明</p> <p>＜説明事項に対する質疑＞ (1)令和3年度審議会の内容について ・特になし</p> <p>(2)本日の説明事項について ・委員から、管路施設等の経過年数の表示について、今後の布設替の見込みを加味していないため、不安を煽るような書き方になっているとの意見があり、今後の資料の作成方法は指摘を踏まえ考えていくと回答し委員了承</p> <p>・委員から、水道事業の有収率とその改善状況について質疑があり、令和2年度末の状況は73.4パーセントで、改善されていないと回答</p> <p>・委員から、有収率が改善されていない理由について質疑があり、高度経済成長期に衝撃等に弱い塩化ビニール管を多く布設しており、この時期の布設は現在の布設替を上回るものであることから、布設替が老朽化に追いついておらず、これらの管をある程度布設替するまでは有収率の回復は難しいが、管路の布設替を主な対策として、漏水調査して修繕するなど様々な対策により改善に努めていくと回答し委員了承</p> <p>・会長から、次回の審議会で、有収率の問題と管渠の整備について、詳細に説明してほしいと意見</p>

- ・委員から、年度末の工事の入札は参加者が少なくなり、価格も高額で落札されることがあるが、これを回避するための取り組みについて質疑があり、ゼロ債務負担行為を活用するなど、工事の発注が一定の時期に偏らないよう平準化に努めており、また、入札の辞退が多い場合や不調となった場合は事業者の都合を把握するために聞き取り等を行い、その意見を考慮して年間の計画的な発注に努めていると回答
- ・委員から、工事に関しては、年次計画や長期的な計画を立てて、発注を進めてほしいと意見
- ・委員から、昨今市内に増加している高層マンションの水道使用状況と水道使用への勧誘について質疑があった。使用状況の具体的な数値は無いが、多くのところでは水道を使用いただいていると認識しており、また、水道使用の勧誘については、機会を捉えて水道使用をアピールをしており、新型コロナウイルス感染拡大が落ち着いてきたらイベント参加やチラシ配布等により水道の普及促進に努めていきたいと回答し、委員了承
- ・委員から、人口減少などにより料金収入が減少している中で、生活に身近な水道施設の補修・管理などに係る費用が必要になる状況から、市民として安心して水をいつまで使用し続けられるか不安を感じるが、今後も生活に必要な水のために必要となる施設が安心・安全に管理されていくような水道・下水道の経営を続けていただきたいと意見があり、効率的な経営に努めていきたいと返答
- ・会長から、将来を見通した施設の修繕・更新計画に合わせて、料金改定を行ってきたことなどの説明を次回いただきたいとの意見があり、次回審議会で今後の見通しについてお話させていただくことを考えていると返答

(3)審議会のスケジュールについて

- ・特になし

《その他の質疑・意見等》

- ・特になし